

<<調査依頼内容>>

リーチング運動の定義について知りたい。

<<回答:文献情報>>

1. 論文

① 上野将紀, 奥住秀之「リーチングにおけるつかめる最大距離の判断と最適距離の発達的变化」『発達心理学研究』24(2), 2013, pp.117-125.

【本文より引用】

リーチングとは, 標的に向かって上肢を伸ばす運動で, 遠方の事物をとる, 遠方に物を置くなど, 日常生活の様々な場面で頻繁に行われている(Choi&Mark, 2004)

【メモ】

・当該論文はウェブ公開されています。以下の URL にアクセスし、画面向かって右側の「PDF をダウンロード」をクリックすることで閲覧が可能です。

<https://doi.org/10.11201/jjdp.24.117>

・下記「本文より引用」内で指示されている文献は以下の通りです。

Choi, H.J., & Mark, L.S.(2004). Scaling affordances for human reach actions, *Human Movement Science*, 23, 785-806.

② Hyeg Joo Choi, Leonard S Mark「Scaling affordances for human reach actions」『Human Movement Science』23(6), 2004, pp.785-806.

【メモ】

・上記①の参考文献です。

・鳥取大学で契約している電子ジャーナルに収録されています。学内ネットワークからのアクセス、もしくは鳥大 ID での認証によって無料で利用可能です。

【電子ジャーナルリンク】

<https://doi.org/10.1016/j.humov.2004.08.004>

【該当電子ジャーナルへの学外からのアクセス方法】

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/remotearchive/remotearchive.html>

※電子資料名「ScienceDirect」の項目をご確認ください。

③ 下堂 蘭恵ほか「23. 視覚性リーチング運動における大脳皮質運動前野の役割(高次脳機能 IV)」『リハビリテーション医学 : 日本リハビリテーション医学会誌』33(11), 1996, pp.866-.

【Abstract より引用】

到達目標を視覚的に認知してそこに正確に手を到達する運動(視覚性リーチング運動)は, 日常生活において頻繁に行われる基本的で重要な運動である。

【メモ】

・鳥取大学で契約しているデータベース「メディカルオンライン」で全文公開されています。
※メディカルオンラインでは論文固有の URL がないため、URL のご紹介ができません。メディカルオンラインにアクセスしたあと、論文タイトルなどで検索してご利用ください。

【メディカルオンラインの利用について】

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/EJ/chuimedicalonline.html>

④ 梶百合子「ヒトのリーチング動作における到達地点ばらつきの限界」

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修士学位論文(2019 年度・修士 2 年制)

【要旨より引用】

リーチング動作はサーブと同様に特定の位置を狙って行われる動作である。日常生活は視覚と大きく関連しているため、リーチング動作においても視覚が影響すると考えられる。

【メモ】

・論文の要旨がオンライン上で公開されています。以下 URL のウェブページ下部にあるリンク「修士学位論文テーマ一覧(2019 年度)修士 2 年制」をクリックし、論文番号 27 番の「要旨」をクリックしてご利用ください。

https://www.waseda.jp/tokorozawa/kg/sports-graduate/masters-thesis_gs.html

2. 図書(電子図書含む)

① Marc D. Binder ほか編『Encyclopedia of Neuroscience』(Springer Berlin, 2009)

【メモ】

・以下の URL から本文をご利用いただけます。

見出し語「Reaching Movements」(pp.3363-3367.)

https://doi.org/10.1007/978-3-540-29678-2_4936

見出し語「Reaching Behavior」(p.3362)

https://doi.org/10.1007/978-3-540-29678-2_4935

② Larry R. Squire ほか編『Encyclopedia of Neuroscience』(Academic Press, 2009)

【メモ】

・以下の URL から一部内容をご覧いただけます。

見出し語「Reaching and Grasping」(pp.23-28.)

<https://doi.org/10.1016/B978-008045046-9.01919-7>

・電子書籍、冊子体ともに鳥取大学では所蔵がありません。全文を確認するためには、コピーもしくは図書館の取り寄せが必要となります(有料)。

③ Eric R. Kandel ほか『Principles of neural science. 6th ed』(McGraw Hill, 2021)

【鳥取大学図書館蔵書検索 資料詳細ページ】

<https://www.opac.lib.tottori-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BC06569601>

【メモ】

・Indexに「Reaching」の見出し語がございます。「See Grasping and reaching」を参照するよう指示されています。

④ Michael S. Gazzaniga ほか『Cognitive neuroscience : the biology of the mind. 4th ed』(W. W. Norton, 2014)

【鳥取大学図書館蔵書検索 資料詳細ページ】

<https://www.opac.lib.tottori-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB1377084X>

【メモ】

・Indexに「reaching for stimulus」の見出し語がございます。

⑤ Dale Purves ほか『Neuroscience. International 6th ed』(Oxford University Press, 2019)

【鳥取大学図書館蔵書検索 資料詳細ページ】

<https://www.opac.lib.tottori-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BB28541835>

【メモ】

・Indexに「Reach-to-grasp, visually-guided」の見出し語がございます。

⑥ 日本体育学会『最新スポーツ科学事典』(平凡社, 2006)

【鳥取大学図書館蔵書検索 資料詳細ページ】

<https://www.opac.lib.tottori-u.ac.jp/opc/recordID/catalog.bib/BA78492111>

【メモ】

・索引に「リーチング」の見出し語がございます。

【本文より】

[動きの系統発生とは]長い歴史の中でヒトが、霊長類(真猿類や類人猿など)から現生人類(ヒト科)への進化の過程で獲得してきた動きを指す。すなわち、四足歩行から直立二足歩行に代表されるロコモーション(移動運動)やリーチング(ものに手を伸ばして取る)や指、掌を自由自在に扱うマニピュレーション(手指操作)などの発達があげられる。

⑦ Jennifer Vonk ほか編『Encyclopedia of Animal Cognition and Behavior』
(Springer Cham, 2022)

【メモ】

・見出し語「Reaching」(p.5873)

https://doi.org/10.1007/978-3-319-55065-7_301877

・電子書籍、冊子体ともに鳥取大学では所蔵がありません。全文を確認するためには、コピーもしくは図書の取り寄せが必要となります(有料)。

<<回答:データベースなどの紹介>>

★鳥取大学附属図書館では、様々なデータベースの利用契約を行い、学生や教職員の皆さんに提供しています。また契約不要で使えるデータベースもご紹介します。

こうしたデータベースを使って「リーチング運動」や「reaching movement」といったキーワードの検索を行ったところ、多くの論文がヒットしました。なるべく多くの論文に目を通したいとのことでしたので、個々の論文をリストアップするよりも実際に検索を行っていただくのが良いと考え、データベースをご紹介します。

【データベース一覧】 <https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/DB/DBlist.html>

・鳥取大学が契約している(鳥大構成員であれば無料で使える)データベースと、契約不要で利用可能な主要データベースの一覧です。

・契約データベースの中には、学内ネットワークからのみアクセス可能なものや、学外ネットワークからアクセスするにあたって鳥大 ID などで認証が必要なものがご紹介します。「学外利用」のリンクが付いているものは、学外からのアクセスに制限がありますので、リンク先をご確認ください。

【CiNii Research】 <https://cir.nii.ac.jp/>

・雑誌論文、図書、博士論文など幅広い学術文献や研究データを検索することができます。主に日本で発表された文献を対象としています。

・「本文・本体リンクあり」の絞り込み機能を使うことで、オンライン上で公開されている論文に絞って調査を行うことが可能です。

・ログインや会員登録など不要でご利用いただけます(学外ネットワークからも利用可能)。

【国立国会図書館サーチ】 <https://iss.ndl.go.jp/>

・国立国会図書館の蔵書に限らず、全国の大学図書館や公共図書館が所蔵する資料や、雑誌記事論文、デジタル資料などを検索できるデータベースです。

・ログインや会員登録など不要でご利用いただけます(学外ネットワークからも利用可能)。

【メディカルオンライン】

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/EJ/chuimedicalonline.html>

・日本国内の学会や出版社発行の雑誌に掲載された医学関連分野の論文などを対象としたデータベースです。

・「本文閲覧可のみ」で絞り込みを行うことで、本文を閲覧可能な文献のみを表示させることができます。

・学内ネットワーク以外から利用する場合は、学認認証によるログインが必要となります。以下をご確認ください。

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/remotearchive/remotearchive.html>

【Web of Science】 <https://www.webofscience.com/>

・全世界で刊行されている学術雑誌のうち影響力の大きい約 12,000 誌に掲載されている論文を採録しているデータベースです。

・「オープンアクセス」の絞り込み機能を使うことで、オンライン上で公開されている論文に絞って調査を行うことが可能です。

・学内ネットワーク以外から利用する場合は、学認認証によるログインが必要となります。以下をご確認ください。

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/remotearchive/remotearchive.html>

<<補足>>

★資料の取り寄せは、以下のウェブページを参考にお申込みください。

「複写」は、雑誌や図書の一部をコピーしたものの取り寄せ、「貸借」は、図書そのものの取り寄せを指します(※雑誌や図書の全文コピー、雑誌の貸借は原則不可)。

○鳥取大学附属図書館「文献複写・相互貸借申込」

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/subscribe/ILL.html>

また、図書の購入申し込みは、以下のウェブページを参考にお申込みください。

○鳥取大学附属図書館「中央図書館 希望図書購入依頼【学生・院生限定】」

<https://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/request.html>

★データベースの利用方法や、複写/貸借の申し込みについてなど、実際の画面や申込書類を見ながらご説明することも可能です。ご希望の場合は、平日 9 時から 17 時の間に図書館カウンターにてお申し出ください。